

経営トップに聞く

きらり光る

創造型企業

(61)



中島社長

日本イオン㈱(本社・東京都調布市緑ヶ丘二一六〇一八、中島有二社長、電話〇三―三三〇八―三九一)は、金属イオンによる水の殺菌装置の製造・販売会社である。独自に開発した銀イオンによる水の殺菌装置に加え、米国キャリビークリアー社との技術提携

日本イオン株

首が塩素消毒を条列化しており「銀イオンや銅イオンは、無害・無臭・無毒といふすぐれた特徴があり、塩素のように臭いが残らないため、利用者にとっても快適であるが、条列化されていないので水道では利用できないためあまり知られていない」と中島社長は語る。この一見、マイナスの要因をプラスへと転じた背景には、同社がターゲットを風呂水浄化を目的に装置開発したことにあつた。同社の主力商品の一つ「イオンクリナー」シリーズは、通常、水の殺菌には塩素を使用することが多い。上水道殺菌に関しては、厚生省が塩素消毒を条列化してのほとんどない業界で順調に業績を伸ばしてきた。「風呂水」というのは、四二℃〜四三℃にすればハイキンはほとんど死滅するといふ厚生省の見解があり、条列化した浄化方法がなかったことと中島社長は分析する。長年ユーザーの信頼を得てきた同社は、露天風呂や池・噴水などの浄化利用など、水回りの相談を受けるようになり、これがきっかけで殺菌殺藻効果を持つ銅銀イオン装置を開発。新規市場への進出を果たした。

金属イオン技術の高度化

水景施設の殺菌のトップグループのホニムを先導



銅銀イオン殺菌殺藻装置

で省力化と人件費削減が実現できる。とくに殺菌効果が、水景施設を重視する露天風呂や、公園などの水景施設で、公認などの水景施設で使われている。まずは広く、メンテナンスコストや薬品費には気を使うため、導入後のメリットは大きい」と中島社長。温泉場の旅館やデイズニードランドなどで導入され評価を得ている。でも広く普及されてきた。同社の設立が、ビジネス効果は実際の昭和三十二年ごろ未知数である。中島社長は、ユーザーに最新情報としてスターを提供するホームページとし、今年五として効果的に活用している。商品名の簡単なパンフレットを作成して営業する。月に日本イオンに社名変更した。「クリアー」にUR-Lを記入して「I」が欲しいけれど、電気屋にの情報をホームページで見ることができない。資料作成の費用を考えれば、コストも安い。わが社では、営業社員が担当先を回り、その報告なども各自がホームページに掲載するなど、随時新しい情報が入っている。中島社長はすでに、各自がインターネットを自かインターネットをアクセスできる次世代に焦点をあてた事業展開を開始している。(田丸穂穂記者)

る――などの欠点があつた。同社の銅銀イオン装置を使えば、それらの欠点がすべて解決でき、全自動のため、メンテナンスフリー